

地域密着型通所介護・運営推進会議（議事録）

令和5年7月12日（水）

18:00 ~ 19:30

デイサービスセンター共楽苑にて

会議出席者

- ・佐々木俊博 委員（特別養護老人ホーム「ますだ」ハイツ施設長）
- ・永井 安行 委員（利用者家族代表）
- ・品川 弥次 委員（西南地区児童民生委員協議会会長）
- ・豊田 繁雄 委員（二条地区社会福祉協議会元会長）
- ・中島 保 委員（美濃地区社会福祉協議会元会長）
- ・堀江真由美 委員（益田市高齢者福祉課）
- ・共楽苑 岡崎正興・江中常純

1. はじめに

令和4年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により、意見照会にとどめざるを得なかった。  
今回は令和4年度に委員のみなさまからいただいたご意見を共有したい。  
ただ、そのまえに通常通り令和4年度の事業報告を行う。

2. 令和4年度の事業報告について

〈別添の『事業報告書』を参照してください〉

3. 前年度の意見照会の振り返りについて

〈別添の『意見照会の内容について』を参照してください〉

4. 意見交換

- ・事業対象者（要介護認定が出なかった方）の利用について  
いわゆる自立の方でも条件に合えば利用することは可能です。  
益田市や地域包括C、もしくはケアマネさんにご相談いただければありがたいです。
- ・利用可能な地域について  
二条・美濃・中西地域に限らず、高津や益田市中心部の方の利用もあります。  
近年は、他のデイサービスも、ともに広範囲の送迎を行っているようです。  
ご希望がありましたら遠慮なくお申し付けください。
- ・地域の商店が無くなったことへの対応について①  
苑の昼食についての対応としては、メイン食材は「こだわりシェフ」を利用しています。  
（障がい者施設・高齢者施設向け完全料理済み冷凍パックの宅配サービスです）  
お味噌汁などのサイドメニューは従来通り調理職員（パート）が調理しています。  
（週に1回キヌヤに出向いて買い物を行っています）

萩市小川の障がい者福祉事業所 EGF でまかなうことが出来る食材については、EGF で仕入れることをはじめてみましたが、安く仕入れることが出来るので助かっております。

・地域の商店が無くなったことへの対応について②

利用者のお買い物については、これまでは竹内商店に注文して品物を持ってきてもらうシステムを採用していましたが、竹内商店が休業して不可能となっており、代替策を検討中です。

・民生委員では、大雨の被害を受けて建て替えた防府の施設を見学に行ったことがある。  
業務継続計画（BCP）を作成・修正するうえで参考にして参りたいと思います。

・外出先（ドライブなど）にはどのようなところに行っているのか？

近年は、コロナ禍でもありあまり行けていません。

横尾の水仙、美濃地のひな人形の展示、うしろえきの桃、旧柏原小学校の桜・小川の桜、はたがさこのアジサイ、持石海岸、江崎の海、石見空港、津和野の堀庭園の紅葉、など

他にも行ったほうがよいところ、取り組んだ方がよいことがあればご提案いただけたらありがたいです。

委員のみなさまには、また会議以外のところでも、適宜ご意見をいただければ助かります。

（議事録作成：岡崎正興）

## 令和4年度の意見照会の内容について

昨年度、委員のみなさまから、以下のご意見をいただきました。

ご意見の内容ごとに分類させていただき、列挙いたします。

本日の協議内容とさせていただきます。(2023.7.12)

### (自己評価について)

- ・ 自己評価は皆さん自分に厳しく評価をされていたので、面談を通して自分の良いところにも目を向けてもらい、自信をもってこれからの業務に取り組んでもらえればと思います。(NS)
- ・ 自己評価後の面談でモチベーションが上がったことは、私どもも参考にさせていただこうと思います。(TS)
- ・ 自己評価について、職員の個人面談は時々はいいが、職員がのびのびとした楽しいと思われる職場になる様、心がける事も大事と思う。(YS)
- ・ 自己評価シートを利用して、自己確認が出来るんだと思います。引き続いて相談等を行っていったほうが良いと思います。(ST)

### (食材について)

- ・ 食材購入については、1週間分をまとめて買い出しをされており大変なご苦勞をなさっておられるのではないかと思います。(TS)
- ・ キヌヤさんとの相談について、交渉が出来たことが大事だと思います。また環境が変わったらキヌヤさんに相談したら良いと思います。(ST)
- ・ 年寄りはおっさりした物が好きです。竹内さんは大変でしょう。(YN)
- ・ 食べ物の問題でむづかしい事が多く大変と思います。(YS)

### (配食サービスについて)

- ・ 配食サービスの食数がここ数年増加していますが、共楽苑で提供できる食数にまだ余裕がある状況でしょうか。また、増加の要因に二条地区のお店が無くなったことが関連しているのでしょうか。(NS)

(新型コロナウイルス感染症について)

- ・ 新型コロナウイルス感染状況は続き思うように行事が進められないもどかしさ、緩和されるとのことですが施設ではそう簡単な事にはいかない、それどころか余分に人手がかかるのではないのでしょうか。(TN)
- ・ 万葉苑でもコロナのクラスターが発生しました。職員あるいは、その家族の感染により職員不足になったりと、日々気の抜けない状況です。早く収束してほしいものです。5月には、5類となり、コロナ感染が始まる前の日常が戻って来ることを願うばかりです。今後ともどうぞよろしく願いいたします。(TS)
- ・ 早くコロナが治まってくれる事を願うばかりです。(YN)

(利用者数について)

- ・ 利用者の介護度が上がれば入所になり、人口は減りつつ一定の人数を確保するのは大変だと思います。広範囲に移動しなければならない苦労があると思われます。(TN)
- ・ まとめを読みました。前年度より利用者が少なくなったとのこと。利用者を少しでもふやしたいですネ。(ST)
- ・ 通所介護では、万葉苑において新規利用者も少しではありますが増えております。要支援、要介護1のご状態の方が多いです。(TS)
- ・ 居宅介護支援では、新規の依頼が多く、万葉苑では断らざるを得ないこともあります。西部包括では共楽苑さんに大変お世話になっております。今後も新規の要支援の方が増えていくのではないかと思います。(TS)

(その他)

- ・ 苑長さんも大変でしょうが頑張って下さい。(YN)
- ・ ここ数日は大寒波と雪でとても冷え込む日が続いています。積雪と凍結による転倒には十分お気を付けてください。また、風邪をひかないように、暖かくしてお過ごしください。(NS)
- ・ 苑長を中心に職員さんも前向きで楽しい職場の様に感じている。(YS)

**デイサービスセンター共楽苑（高齢者・在宅福祉サービス）**  
**令和4（2022）年度 事業報告書**

**通所介護事業（地域密着型【地密】・総合事業通所型【総合】）**

①利用数値統計

ほのぼのNEXT→請求→デイ→請求統計→「時間帯別人数一覧（介護デイ）（総合デイ）延人数」 / 請求統計→請求共通→「要介護度別実績表」 より  
 介護保険利用者延回数〔開苑日数、要介護者利用延数、要支援者利用延数、合計数〕

延回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開苑日数	26	23	26	26	25	19	26	26	25	23	24	27	296
地密（介）	246	218	265	248	242	182	227	224	217	184	188	228	2669
総合（支）	96	89	98	84	89	69	88	91	94	89	94	103	1084
R04度	342	307	363	332	331	251	315	315	311	273	282	331	3753
R03度	326	293	342	332	288	342	332	307	302	268	280	346	3758
R02度	329	319	337	343	293	320	335	304	315	280	305	353	3833
R01度	301	298	315	326	285	291	306	292	296	268	324	327	3629
H30度	311	316	321	330	277	291	328	310	294	261	272	292	3603
H29度	309	286	317	306	283	296	293	298	292	266	289	315	3550
H28度	298	274	308	328	296	316	332	350	337	306	313	335	3793
H27度	303	286	328	354	282	326	344	304	292	232	288	309	3648

（参考）令和5年度の4月 190+92=282

- ・平成28年度より、益田市指定の「地域密着型通所介護」（定員18名）となり、7年度が終わりました。
- ・平成29年度から益田市の指定管理者ではなく法人所有の施設となっています。
- ・原則として、日曜日を除く週6日の営業であり、祝日も開苑しました。ただし、5月初・盆・正月には特別休業日を設定しています。

②利用者

- ・介護保険利用者 → 要介護の方については居宅介護支援事業者の作成するケアプラン、要支援の方については介護予防支援事業者の作成する予防支援プランに基づき、利用者のご希望にあわせてご利用させていただきました。

（参考）【地密】【総合】を合計して100%とした場合の全体構成比（「介護報酬請求額」の比率）

事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
0.5%	6.4%	12.5%	38.0%	15.9%	17.4%	6.8%	2.5%	100.00%

- ・延べ利用回数は昨年度と同水準。介護度別の利用割合も、「自立」「要支援者」と「要介護1」の利用者が大半ということになります。
- ・益田市の「通所託老」や、「おたっしや体操教室」の実績はありませんでしたが、「自立」の事業対象者のご利用はあります。

### ③サービスの内容

介護支援専門員が作成するケアプランに則して送迎・健康管理・入浴・食事等の通所介護計画を作成しサービスを実施します。その他、アクティビティ・各種相談・機能訓練・運動機能向上等、各利用者に合わせた個別対応を行います。また、年間行事計画等を作成し、利用者同士や地域との交流に努めます。

### ④職員

業 務	基 準	資 格 (実人数)	市外職員	常勤換算
生活相談員	1	社会福祉士 (1) ヘルパー 1 級 (1)		1. 2 5
介護職員 (兼務・パート含む)	2	介護福祉士 (4) ヘルパー 1 級 (1) 介護職員初任者研修 (1)	萩市(2)	3
看護職員	(1)	看護師 (2) 准看護師 (1)	津和野町 (1)	0. 9
調理員		調理師 (1) その他 (2)		0. 8 8
事務員 (介護職員兼務)		介護福祉士 (1)		0. 5
運転手		二種 (1)		0. 1

以上の職員で対応。常勤職員は1日8時間、週40時間制による勤務体制。職員分担をよく守り、お互いよく協力して業務に取り組みました。

### ⑤総括

- 職員全体に、利用者の思いを謙虚に聴く姿勢について常に意識させ、接遇や、介護の技術向上につとめました。
- 新型コロナウイルスとの闘いが長期化し、1年を通じて、行事や研修、ボランティアの受け入れの禁止、あるいはご利用の制約を設けざるを得ず、従来とは違う3年間の運営を強いられてきました。
- 9月には新型コロナウイルスのクラスターが発生したために、保健所の指導のもと、10日間、休業せざるを得ない事態となりました。利用者にたいへんご迷惑をおかけしたと考えております。
- 令和4年度の利用者の利用回数については、上半期は非常に安定していたと考えられますが、下半期は、在宅を諦めて入所される方や、お亡くなりになる方も多く、比較すると、減少となりました。特に冬場のご利用が少なかったように思います。
- 介護報酬の少ない軽度者の利用者が多くなってきて、利用回数が事業所の収入にはつながらない要素があります。また、近年、介護認定が現実の実態よりも軽度になる傾向が高いです。
- 改修後はコンパクトな形となり、人手をかけないようにして運動機能向上サービスを利用いただいているところです。令和2年7月1日からは居宅介護支援事業所との事務所統合を行い、よりいっそうの集約化を図りました。その点は令和3年度、令和4年度も継続しています。電気代の高騰に対しては、電力会社の変更等を行いました。
- 長年勤められた調理員が短時間労働を希望され、メイン食材の外注を令和3年3月半ばより開始し、今期で2年が経過しました。
- 二条地区にお店がない状況なのですが、美濃の竹内商店のご協力により、デイ利用者が、お買い物（お店に注文）出来る形をなんとか維持しております。事業所としての事業用食材の購入については、横田のキヌヤまで週に1度、仕入れに出かけている状況です。

① 利用数値統計

ほのぼのNEXT → 国保請求 → 統計 → 「要介護度別年間請求分析」 / 包括Cへの「請求書」の数値 などより

介護保険利用者数（各種加算の数値は複雑であるため除外）

延回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R04 年度 要介護	54	51	51	53	50	52	53	53	54	55	49	50	625
+要支援	30	28	34	34	33	33	33	36	35	33	33	32	394
R03 年度 要介護	39	45	49	52	46	49	47	45	56	48	47	49	572
+要支援	25	26	28	28	26	24	29	28	33	33	33	32	345
R02 度 要介護	53	55	53	51	50	49	51	48	48	48	48	44	598
+要支援	22	23	22	22	23	21	21	23	25	26	27	27	282
R01 度 要介護	40	39	40	49	47	47	50	47	51	50	50	51	561
+要支援	22	23	22	21	21	21	21	22	19	20	23	21	256
H30 度 要介護	55	54	52	54	54	50	48	46	41	39	39	41	573
+要支援	22	22	23	23	23	23	24	24	24	24	23	23	278
H29 度 要介護	62	70	71	67	64	58	56	61	58	51	56	53	727
+要支援	22	22	24	23	23	24	24	23	24	24	22	22	277
H28 度 要介護	57	57	50	62	59	54	55	67	65	64	67	65	722
+要支援	23	23	24	24	23	22	25	23	23	24	24	21	279
H27 度 要介護	62	67	68	67	62	66	61	61	58	52	57	59	740
+要支援	25	26	22	23	23	23	23	23	23	23	25	24	283

各年度、上段が要介護、下段が要支援受託件数

(参考) 令和5年度の4月 50+(33)

※ 入所・入院中で在宅介護サービスを利用されなかった場合は、請求の対象とならないため、資料の数字には含めていません。

※ 介護予防支援の受託（「要支援」の方。報酬はおおよそ要介護者の半額）は、各地域包括支援センターとの契約に基づいて行います。

「要支援」の方については、平成30年度から、市・直営型の益田市地域包括支援センターが解消され、梅寿会（西部包括）と益田市医師会（中部・東部包括）に委託されることとなり、共楽苑の居宅介護支援事業はいわゆる「孫請け」先という形態になっています。主に、西部包括から受託しています。

② サービスの内容

- ・利用者のご希望やニーズにあわせ、自立支援のための相談援助業務とケアプランの作成、要介護認定調査部門（再認定）の業務等を行いました。
- ・利用者ご本人、家族、各担当者の意向や意見を聴き、ご本人の日常生活の充実につながる最善の支援策となるよう、介護計画を作成しました。

③ 職員

業 務	資格 [基礎資格] (実人数)	常勤換算
介護支援専門員（1名が管理者兼務）	(主任) 介護支援専門員 [介護福祉士] (2)	2

常勤者1日8時間、週40時間の勤務体制。

④ 総括

- 1 要介護者について月1回の利用者宅訪問で相談に応じ、アセスメント→ケアプランの作成・サービス担当者会議→月1回のモニタリング記録を行うこと等、業務の徹底をはかりました。
- 2 市や県、その他各団体の主催するケア会議やケアマネジャーの研修会にテレビ会議システム等から参加し、ケアプラン作成に生かしました。
- 3 要介護者については、昨年度と比較すると増加しました。要支援者も増加傾向にあります。とはいえ、まだまだ受け入れ可能な状況となっていますので、益田市西部居住者に限らず、さまざまな地域（萩市など）の利用者の受け入れが出来るように工夫してまいりたいと考えています。
- 4 共楽苑は、過疎地にあるのですが、特別地域加算が適用されないため、市に要望していきたくと考えています。
- 5 2名とも市民後見人養成講座を修了しましたので、成年後見業務等を受け入れます。**（新年度4月現在、苑長名義担当分が9名、NPO 按分担当分が6件）。**

**その他**

① 益田市からの受託事業（参考データ）

・配食サービス	20年度＝1392食	21年度＝1456食	22年度＝1644食	23年度＝1646食
	24年度＝1211食	25年度＝1325食	26年度＝1586食	27年度＝1521食
	28年度＝577食＋62食	29年度＝544食＋138食	30年度＝755食＋209食	
	R1年度＝653食＋168食	R2年度＝928食＋78食	R3年度＝1488食＋66食	<b>R4年度＝1306食</b>

【「+a」表記は市の認定が受けられなかった方への配食です。法人認定により、600円で行っています。】

（まとめ）

- ・少数の重度利用者のニーズにきちんと応えられるように工夫しつつ、かつ、大半の軽度利用者に、よりいっそうご活発にご利用していただけるよう工夫していきます。また、この機会に成年後見等の新しい活動の事業化も検討していきます。
- ・介護の仕事をしていただける職員さんを募集しています。